

# 糸島市×住友理工×九州大学

## 地域共生社会のためのデザイン Design for Convivial Communities

### KU&NCKU Joint Design Workshop 2019

田村良一

九州大学大学院芸術工学研究院  
デザインストラテジー部門

牛尼剛聰

九州大学大学院芸術工学研究院  
コンテンツ・クリエーティブデザイン部門

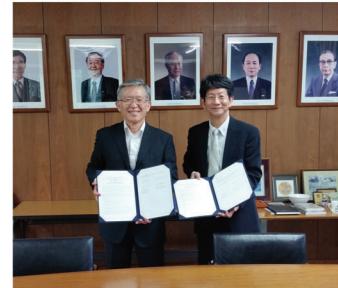
稻村德州

九州大学大学院芸術工学研究院  
デザインストラテジー部門

#### 背景

2015(平成27)年12月、糸島市、住友理工株式会社、九州大学は、地域包括ケアシステムをはじめとする「健康」「医療」「介護」に関する地域福祉の向上、研究教育活動の推進、技術開発による新産業の創出などを目的として、3者間による連携協定を締結し、2016(平成28)年4月、同連携協定に基づき、九州大学ヘルスケアシステム LABO 糸島(愛称:ふれあいラボ)を開所しました。また、2017(平成29)年6月、九州大学芸術工学部は、これまでの交流実績の成果のもと、国立成功大学計画デザイン学部(台湾)との間で、学術交流協定および学生交流協定を締結する運びとなりました。

これらの背景のもと、本プロジェクトは臨時開設科目「グローバルデザインプロジェクトV」として、「地域共生社会のためのデザイン(Design for Convivial Communities)」をテーマとして、地域住民(主に高齢者)に焦点をあて、地域社会での生活の質(QOL:Quality of Life)の向上を目的としたIoT(Internet of Things)技術を活用したサービスデザインを考案しました。



#### 授業の概要

九州大学芸術工学部・芸術工学府の学生7名、国立成功大学計画デザイン学部の学生11名が参加し、両学生の混成4グループを編成しステップ1、ステップ2を実施しました。その後、両大学の学生ごとに8案のサービスデザインを最終成果として考案しました。以下、各ステップの内容を説明します。

#### ステップ1

日程:2019年9月24日(火)~27日(金)  
場所:九州大学 大橋キャンパス

福岡と台湾の都市部に生活する元気な高齢者の生活意識に関する研究成果(※)をもとに、糸島市「ふれあいラボ」において、高齢者を対象として生活意識や生活課題などに関するインタビュー調査を行いました。4グループごとにペルソナを作成し、ミニプレゼンテーションを行いました。



#### ステップ2

日程:2019年11月26日(火)~28日(木)  
場所:国立成功大学

各大学において、継続して実施した調査の結果を報告しました。そして、4グループごとにユーザージャーニーマップ、ステークフオルダーマップを作成し、ミニプレゼンテーションを行いました。



#### ステップ3

日程:2020年2月17日(月)~21日(金)  
場所:九州大学 大橋キャンパス

最終成果となる8案のサービスデザインについて、糸島市「ふれあいラボ」において、糸島市の市民、行政職員、住友理工社員らを対象としてプレゼンテーションを行いました。また、九州大学大橋キャンパスにおいて、教職員・学生らを対象としてプレゼンテーションを行いました。



# Phonect

宗雲友志

芸術工学府  
デザインストラテジー専攻

「Phonect」は、老人ホームの高齢者のための新たなSNSの提案です。高齢者は若者が投稿した写真の鑑賞を楽しみ、若者はそれに対する高齢者からのコメントや「いいね」などの反応を楽しむことができます。インターフェースは、高齢者向けと若者向けの2種類があり、各々が煩雑に感じない仕様とします。これにより異世代間交流の活性化を図ります。

## 使い方:



### 高齢者に向けて

高齢者は若者の投稿した写真を閲覧できる  
高齢者と若者は、写真に対する「いいね」やコメントの送信によって、交流することができる

検索はキーボード入力だけでなく、簡単な音声入力も可能。そして、インターフェイスはシンプルで、高齢者でも使いやすいように設計されている



### 若者に向けて

若者は他のSNSアカウントと連携可能  
他のアカウントで投稿した写真が自動で投稿される



高齢者は、訪れたい場所や思い出の場所の写真撮影を若者に依頼できる



若者は高齢者の望む写真を撮影し、その投稿はお年寄りのもとに届く。写真によって、世代間交流を促進する

## ビデオ



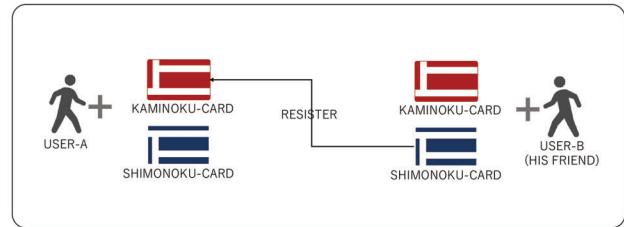
# KARUTA

小原拓也

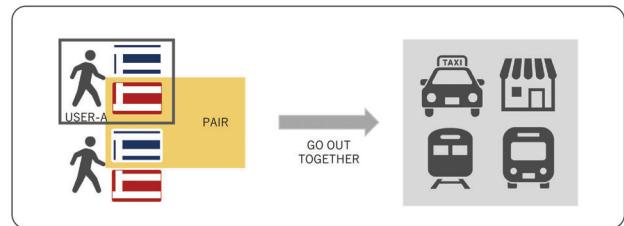
芸術工学府  
デザインストラテジー専攻

「KARUTA」は、自動車を所有しない人を対象とした複数人の外出促進を目的としたサービスの提案です。利用者は、交通機関を複数名で利用すると運賃の割引サービスなどが受けられます。このサービスでは、友人が多ければ多いほど割引率が高くなるため、利用者同士の新たなコミュニティの形成や発展なども期待できます。

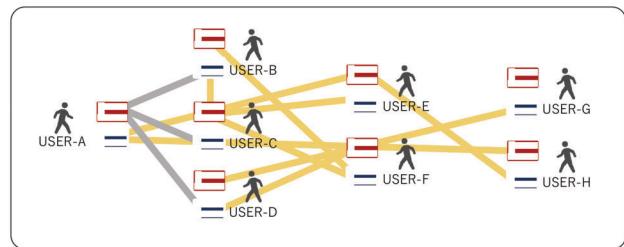
## 使い方:



カードは他のカードとペアカードとして登録する

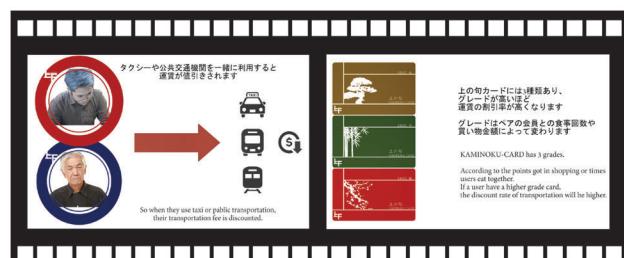


ユーザー同士がペアで出かけることによって、運賃の割引などのサービスを受けることができる



ペアとなっている人の人数やカードに付与されたポイントは毎月郵送で送られてくる用紙で確認できる

## ビデオ



# Itoshima Hometown

張翼

芸術工学府

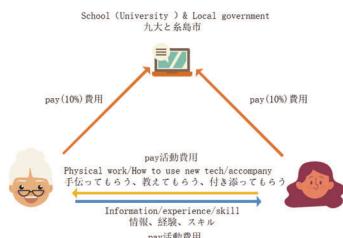
デザインストラテジー専攻

「糸島ふるさと」は、地域活動予約プラットフォームの提案です。地域の生活や文化などをテーマとするイベントを提案し参加者を募集したり、他者のイベントに参加したりすることで地域の人々をつながり促進させます。糸島市の人々が、自分のストーリーや経験を他の人とシェア、交流を増やすことで、地域活性化を目指します。

流れ：



ビジネスモデル：



ビデオ



# Stories of itosima

張哲

七條花恋

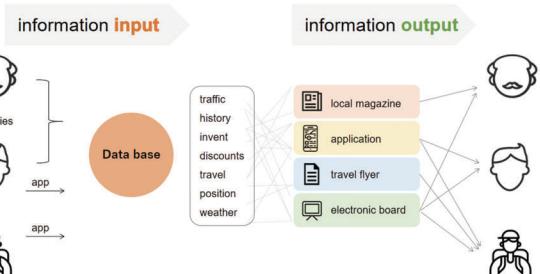
芸術工学府

芸術工学部

デザインストラテジー専攻 工業設計学科

「Stories of itosima」は、高齢者、若者、観光客の3者の情報交換を目的とした一連のシステムの提案です。このシステムでは、フライヤー、アプリケーション、電子掲示板の利用を通じて、地域の情報をシェア（送信・受信）することができます。高齢者、若者、観光客の3者の交流の機会を増やすことを目指します。

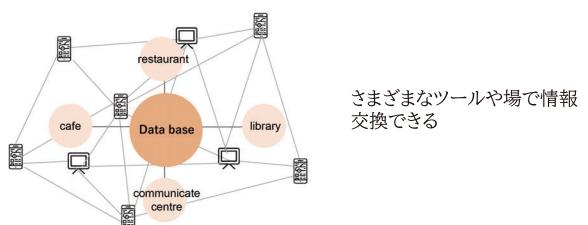
システム：



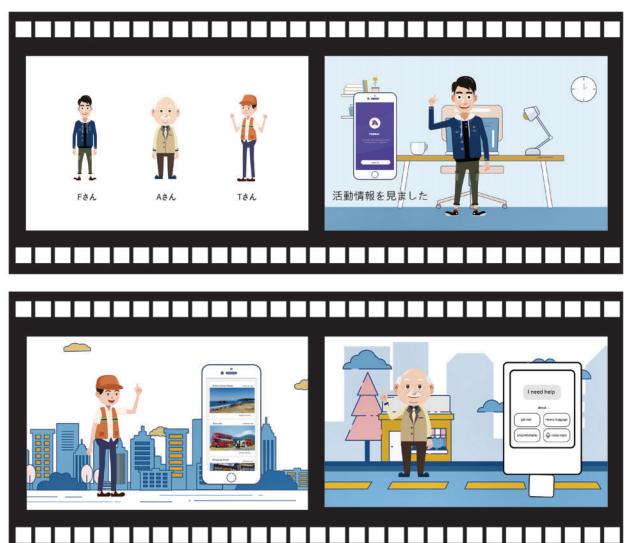
対象とするユーザは、若者、高齢者、観光客。誰もが、糸島市の情報の発信者、受信者になれる



情報ネットワーク：



ビデオ



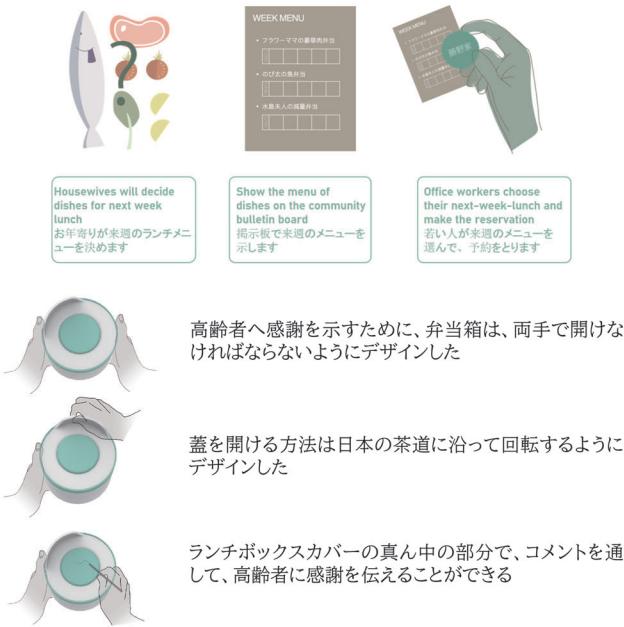
# 誰の食事

賴郁仁 葉珮涵

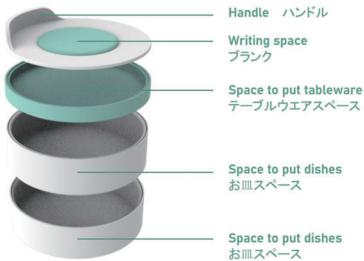
国立成功大学 国立成功大学  
工業設計学科 工業設計学科

「誰の食事」は、を通じて、高齢者と若者の間に接点をつくろうとするサービスの提案です。多くの高齢者は料理が得意です。そこで、高齢者は若者のために弁当を作り、本サービスを通じて弁当を届けます。弁当箱にはメッセージを書き込める機能があり、返却時に若者からのメッセージを受け取ることができます。

## 使い方:



## プロダクトディテール



## ビデオ



# ITOCAFÉ

談德泉 林芷妍

国立成功大学 国立成功大学  
工業設計学科 工業設計学科

「ITOCAFÉ」は、地元の物語や古いものを収集、保管、展示する機能をもったコーヒーショップの提案です。高齢者は、このコーヒーショップで、体験談や古いものを共有することができます。一方、若者や来訪者は、このコーヒーショップを通じて、地元のことを学ぶことができます。

## 目的:



高齢者が若い者へストーリーをシェアする

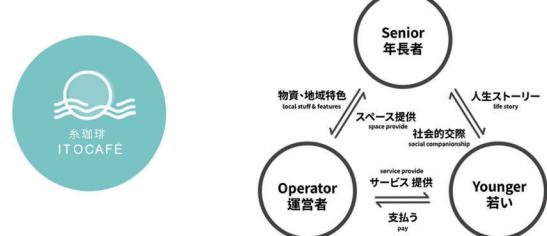
ストーリーは「Telder」でレコードされる

活動のルームは「ストーリー博物館」となる

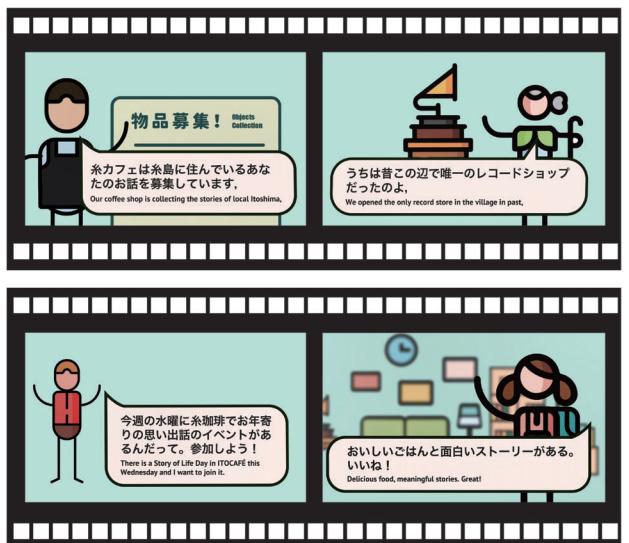
## オブジェクト:



## ビジネスモデル:



## ビデオ



# CCtainan

張庭璋 林子瑜 陳映諳

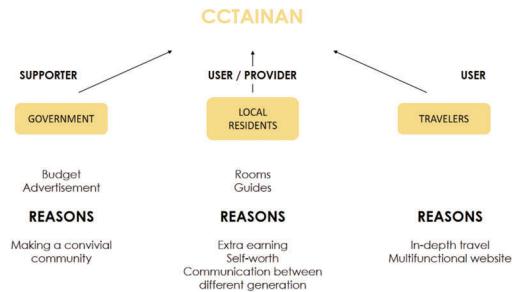
国立成功大學 国立成功大学 国立成功大学  
工業設計学科 工業設計学科 工業設計学科

「CCtainan」は、地元の高齢者と旅行者を結び付け、一緒に地元を旅行するためのWebサイトの提案です。多くの高齢者は、地元の文化や歴史などについて精通しており、旅行中、高齢者の知識や経験を生かすことが期待できます。また、高齢者は、旅行者から新しい情報を入手することができます。

## ウェブサイト:



## モチベーション:

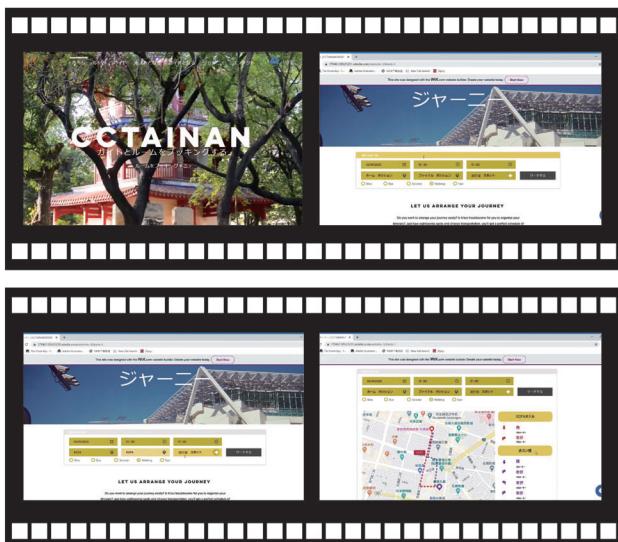


## 機能:

### Features of CCTAINAN

- トラベルプランナー ⇔ 旅行者へ旅行、ルートについての情報を提供できる
- ツーリズム ⇔ 旅行者はもっと多い台南のヒストリーを知られる
- コミュニケーション ⇔ 地元住民は旅行者と交流できて、お互いに情報をシェアできる

## ビデオ



# Music bus stop

劉安國 程郁雅 陳映舟

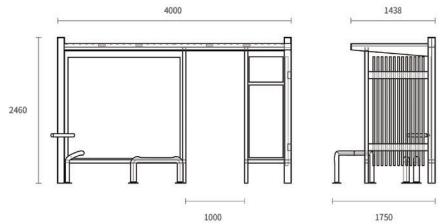
国立成功大學 国立成功大学 国立成功大学  
工業設計学科 工業設計学科 工業設計学科

「Music bus stop」は、バス停を利用する人々の間に交流関係を作り出そうとするサービスの提案です。バス停のベンチに腰掛けたり、手すりを握ったり寄りかかったりすると、利用者の動きに応じて様々なメロディーが流れます。バス停を利用する人々は、これらのメロディーを通じて相互に注意を払うようになります。

## 使い方:



## プロダクト ディテール



このサイズはユーザーが快適に使うことができるよう

## ビデオ

